山口県優良建設コンサルタント等業務におけるこれまでの取組事例

番号	項　目	取　組　事　例
1	実施体制と執行計画（調査）	橋梁等の定期点検において、新技術を活用して点検作業の高度化を図るとともに、その効果や課題を整理するなど、業務目的の成果を得るための実施方法が業務の目的に対して的確であり、他の業務でも参考となるべき取組みであった。
2	執行管理（設計）	現地調査において、3Dスキャナーを用いて3Dモデルを生成し補修設計に使用することで損傷状況を的確に把握するとともに損傷図を正確かつ効率的に作成するなど、業務の進捗を図るための工夫が認められ、取組みが優れていた。
3	品質管理（設計）	対象渓流の隣接渓流も含めた現地踏査や空中写真判読により流出土砂の発生源を確認することにより、両渓流を合わせた対策の必要性を明らかにし、これを踏まえた適切な対策工の設計を実施するなど、履行途中の取組姿勢において、品質確保及び向上への取組が優れていた。
4	品質管理（調査）	工業用水道の隧道区間における点検業務において、酸欠等への安全対策を万全に行うとともに、工業用水の送水停止によるユーザーの不利益が最少となるよう綿密に計画を立てて作業を実施するなど、調査・計画時に留意すべき事項が整理され、調査・計画に的確に反映されていた。
5	品質管理（調査）	関係者の確認や調整に多大な労力を要する広範囲に渡る井戸調査等の水文調査において、地元関係者への事前説明や交渉、調整を行うとともに調査時にも誠意をもった適切な対応を行うなど、履行途中の指示事項や課題等に対する取り組み姿勢が優れていた。
6	品質管理（地質調査）	短いトンネルで特に重要な地山分類・評価が適切に行えるよう、3Dレーザードローンを用いた地形図を作成し、崩壊地形の把握を行うなど、設計・施工上の留意点を明確化するための調査方法や調査箇所の選定等、調査対象項目の整理が優れていた。
7	品質管理（地質調査）	供用中の道路や沿岸水域、企業敷地など多様な条件下で実施した地質調査において、関係機関との調整や調査箇所の変更・追加に柔軟に対応するとともに、現地状況を踏まえた調査内容等の見直しを提案し、設計・施工上の留意点を整理するなど、成果品の品質向上に資する取組が優れていた
8	説明調整能力（設計）	災害復旧に係る業務において、機構解析や復旧工法に関して学識経験者への意見聴取を実施した際など、とりまとめられた説明資料等や打合わせを円滑に行うための取組姿勢が優れていた。

番号	項　目	取　組　事　例
9	説明調整能力（設計）	災害復旧に係る業務において、現道交通の確保を条件とした護岸構造選定や安定計算、潮位を考慮した仮設計画の検討等を適切に行うとともに、これらに関する国との事前協議においても、とりまとめられた説明資料等や打合わせを円滑に行うための取組姿勢が優れていた。
10	説明調整能力（設計）	農業者への説明資料として、農業用水の取水樋門や吸込水槽、ポンプ施設等の揚水機場の完成イメージを三次元化したモデルを用いたわかりやすい資料を作成するなど、とりまとめられた説明資料等や打合わせを円滑に行うための取組姿勢が優れていた。
11	説明調整能力（設計）	業務の高度化・効率化や生産性向上を測るため、BIM/CIMモデルの作成・活用過程における効果や課題を分析・検証するものであり、3次元点群データの利活用において、様々な工夫が見られ、分かりやすく成果品を取りまとめられていた。
12	説明調整能力（設計）	WEB上でリアルタイム監視を行い、基準値超過時に警報メールを発信するシステムを導入するなど、安全管理の強化や危険予知の迅速化を図り、さらに、図面や写真を用いた分かりやすい資料を作成することで、有識者との協議や計画方針の決定を円滑に行うための取組姿勢が優れていた。
13	責任感・積極性・倫理観（調査）	ダム貯水池の水質改善対策のために実施する水質シミュレーションのパラメータ設定等に有用な水質データを取得するため、水温の変動時や出水時等、臨機の調査に適切に対応するなど、取組姿勢が優れていた。
14	成果品の品質（設計）	災害復旧に係る業務において、軟弱地盤への対応や施工時期の制約、景観への配慮やDID地区内での工事といった現場条件や現場特性等を把握し、それらを踏まえた仮設計画、施工計画が提案され、わかりやすくとりまとめられていた。
15	成果品の品質（設計）	複数箇所の災害復旧に係る業務において、関係者との調整や確認を迅速に行うとともに、各々の現場条件や現場特性等を把握し、それらを踏まえた仮設計画、施工計画が提案され、わかりやすくとりまとめられていた。